text by AKIRA ENDO

歌詞もメロディもドラマティックな歌で、ストーリーをさらに盛り上げる！

TVアニメ「機動戦士ガンダムSEED」EDテーマ See-Sawが歌う「あんなに一緒だったのに」

プロフィール■（写真左から）梶浦由記（キーボード）、石川千亜紀（ボーカル）。'93年にデビュー。今年、TVアニメ「.hack//SIGN」（テレビ東京系）のOPテーマソング「Obsession」がロング・ヒットに

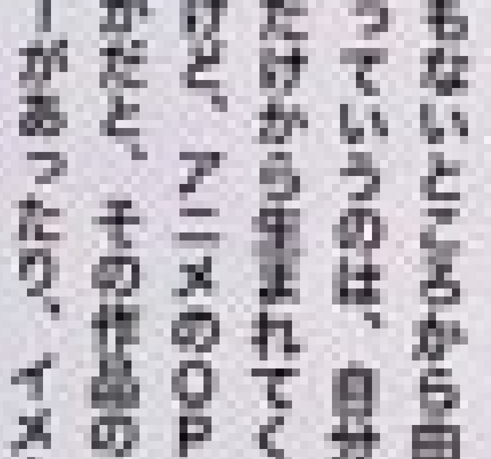
TVアニメ「機動戦士ガンダムSEED」（TBS系）のED「あんなに一緒だったのに」を手がけるSee-Saw。「OPやEDは、シーンをきちんとつくる義務があると思う」という梶浦由記にこの曲の話を聞いた。

「最初お話をいただいたときは"いいのかな"って思いました。これまでやってきた音楽を考えると、こんなメジャーな作品の曲がつくれるだろうかって。特に最近は思うままにつくっていたので（笑）。でも、人間の心の動きとか愛とか、そういうことを描くのであれば、"大丈夫"と思ってつくったんですよ」

前作「Obsession」のロング・ヒットに続いて、大きなチャンスをつかんだSee-Saw。

「何もないところから曲をつくるっていうのは、自分たちの中だけから生まれてくるものだけど、アニメのOPやEDとかだと、その作品のストーリーがあったり、イメージをいただいて、コラボレーション的につくっていくので、（石川）千亜紀と2人だけでは生み出せないものが生まれてくる可能性があるので楽しいですね」

こんな2人なら、今後もすてきなコラボレート作品が生まれそうだ。



「あんなに一緒だったのに」
See-Saw

詞とメロディの相乗効果で強く心に残るサビ、それが曲の中を駆け巡るドラマティックな展開。フレーズによって、2人が歌ってるのかと思えるほど、表情を変える歌声もインパクト大